



発行所 飯田市松尾公民館
編集人 松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

ダブルダッチで世界の頂点へ!



国際大会で優勝した宮嶋亜李さん（写真中央）

成人式を終えて

平成28年度松尾地区成人式実行委員 竹折優太(明区)

私たちは1月8日に無事成人式を迎えることが出来ました。成人式を迎えるにあたり、実行委員として、小学校時代を振り返るスライドショーの作成、中学校時代の恩師のビデオレター撮影、地域の魅力を再発見する体験等々準備をしてき

ました。前日の心配事としては、雪にならないかということだけでした。待ちに待った当日、私たちの願いが通じ、成人となる私たちに祝福するかのように、屋外で記念写真を撮ることができました。松尾地区は写真のとおり大勢の

同級生がいて、中学卒業以来、久々に再会する仲間がほとんどでしたが、みんな昔の面影が残っていて、とても懐かしく、笑顔が絶えることのない成人式でした。改めて、今回成人式を迎えられたことに感謝すると共に今日まで支えてくださった家族、仲間、諸先生方、地域の皆様に感謝申し上げます。今思うと長いようで短かった20年間だったと思います。これからも、迷惑

昨年10月に香港で行われた、ダブルダッチコンテストで優勝したメンバーの一人、宮嶋亜李さんは城区出身の22歳。高校卒業の時に中学校の体育教師を目指して、日本体育大学へ進学した。そこで初めてダブルダッチを目にした宮嶋さんは、パフォーマンスの格好良さに魅かれ、サークルに入り毎日練習を続けた。

ダブルダッチとは、2本のロープを使って跳ぶなわとびで、向かい合った2人がロープを交互に回転させ、その間で跳び手が色々な技を交えて跳ぶスポーツであることをかけることは多々あるかと思いますが、ここまで育ててくれた周りの方々に恩返しをする番だということを感じ、感謝の気持ちを持って日々努力していきたくと思います。

同じ松尾地区で成長してきた仲間はこの先も、一生仲間であり大切な存在です。この先どこでどう繋がるかは想像が付きませんが、再会した際はみんなよろしく☆



子供たちに何かを教えたという、教師を目指していたが、ダブルダッチをもっと頑張りたいと、4月からはプロチームに入り、普及活動に取り組み予定だ。イベントに参加したり、体験企画を開いたりしていく中で、子供たちにも楽しさを教えていきたいと考えている。「ダブルダッチは、ロープを回す人も跳ぶ人もひとつにならないとうまくいきません。相手のことを思うというのが、こういうことなのだと思いました。競技の中でいろいろなることを学びました」と宮嶋さんは話す。



近い将来、プロチームの華麗なダブルダッチを松尾で見られる日がくるかもしれない。

パソコンで全国大会へ

1月22日全国中学生ものづくりフェアが東京TOC有明で行われ、パソコン入力部門に緑ヶ丘中学校3年生の平栗大和君が出場した。長野県でただ一人、緑ヶ丘中学校では初の出場となった。昨年10月に行われた「毎日パソコン入力コンクール」の1級で見事合格し、120位に入り出場権を得ることとなった。全国大会があることを知らなかった平栗君はびっくり!それでも全国のレベルがどれくらいか知りたいたいということもあり出場することを決めた。

中学校の校舎の壁には「祝全国大会出場」の懸垂幕が掲げられ、「決勝に残れるように頑張ります」と決意を語った。この全国中学生創造ものづくり教育フェアでは、全国各地からの代



緑ヶ丘中3年 平栗大和くん (城区)

松風

かつて飯田藩の米びつといわれた明河原地区。「暴れ天竜」の異名で知られる天竜川沿いの氾濫原に位置し、昔から大水害に見舞われてきた。平らで肥沃の地は繰り返された氾濫の歴史そのものでもある▼1739年(元文4年)、かの江戸南町奉行として名高い大岡越前も裁きに加わったことで知られる島田村(現松尾)と虎岩村(現下久野)の村境争い。天竜川をはさんで弁天殿島神社がどちらの村の所有かの争いにつき、「飯田藩寺社帳に島田村所有と記されている」とする島田村の言い分が認められた▼判決文の裏面に描かれた絵地図は奉行ら8人の判決によることから、「御八判地図」といわれ「松尾の宝」として今も松尾公民館に大切に保管されている。その後築造された石割堤防は昭和36年まで幾多の洪水に耐え明河原の200町歩の水田を守り続けた▼引用は我が子が中学生時代の総合的学習用の地域教育教材、飯田市教育委員会編集「私たちの飯田市(中学生副読本)」である。暴れ天竜の治水にかけた先人の情熱に想いを馳せふるさと探訪の小旅行が出来た。生涯学習の大人にこそお薦めの一冊である。

松尾の人口
男子 6,197人
女子 6,860人
計 13,057人
世帯数 4,976世帯
2月末現在

松尾地区文化祭

2日間にわたり盛大に開催される

2月4日と5日の2日間、松尾地区文化祭が松尾公民館で行われた。今年も新しい試みとして2日間、わたり芸術発表会が行われ、公民館ホールは発表する人と観る人の熱気に包まれた。

毎年恒例の商工会女性部による豚汁や食生活改善推進協議会による試食コーナー、文化委員会によるおしるこ提供は人気で、「あつたかい」「おいしい」という声があちこちから聞こえた。

婦人会によるソフトヘルメット作り、保健推進委員会のパネル展示やトイレットペーパー配布も好評がある。伊那谷健康友の会による骨密度・体組成測定で自分の体を改めて知るといふ催しには毎年行列がで、神妙な顔つきで結果を見る人、ほっとした表情の人など様々だった。

広報委員会企画のクイズラリーに参加した来館者は展示物を見ながら答えを見つけて、最後のアンケート「リニア駅のあるまち飯田、あなたは10年後どんな松尾にしたいですか？」に真剣な面持ちで記入していた。

5日に行われたチャイルドシート無料配布は、昨年よりも受付時間を早めて9時としたところ、先頭の人朝7時半前から並んだという。日頃の文化活動の成果を、より多くの地区民に見てもらおうと、文化祭に関わる公民館委員や分館役員らは試行錯誤してこの催しを作り上げていく。その熱い思いがあつてこそ、松尾地区文化祭が毎年盛り上がるのであろう。

2月19日飯田市公民館大会が行われた。この大会は1年間の活動の成果を確認するとともに、参加者が自分たちの暮らしや生き方を見つめ、公民館が担う役割や活動の方向性について互いの考えを深め合う機会として、飯田市公民館で毎年開催されている。

基調講演は藤山浩氏（島根県中山間地域研究センター）研究統括監、島根県立大学連携大学院教授。全国各地の農山村での実践をもとに、「人・物・経済・情報をつなぐための合わせ技

これからの公民館と地域づくり

第54回飯田市公民館大会

2月19日飯田市公民館大会が行われた。この大会は1年間の活動の成果を確認するとともに、参加者が自分たちの暮らしや生き方を見つめ、公民館が担う役割や活動の方向性について互いの考えを深め合う機会として、飯田市公民館で毎年開催されている。

基調講演は藤山浩氏（島根県中山間地域研究センター）研究統括監、島根県立大学連携大学院教授。全国各地の農山村での実践をもとに、「人・物・経済・情報をつなぐための合わせ技



基調講演・藤山浩氏

科会に分かれて学習会を行った。第1分科会「未来へのバトンパス」世代間のつながりを深める。第2分科会「子ども」第3分科会「次世代に想いをつなぐ地域文化」第4分科会「高齢期を支えたいと生きがいを持つ」第5分科会「私と地域」とつなぐ公民館。第6分科会「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう」とそれぞれ話題提供があり、地域づくりについて討論が行われた。

公民館大会において、長年公民館活動に尽力した教育功労者の表彰があり、松尾地区からは体育委員とスポーツ推進委員を計8年務めた山中由美さん（久井区）が受賞した。

教育功労者表彰



クイズラリーに参加して



豚汁おいしくできたよ



鉄道模型、すごいね



昔の八幡はこんなだった



はい、ポーズ



テックレンジャーがっこいい



フラワーサークル



どれにしようかな？



試食をどうぞ



3D あーとほーむ

おいしい味噌な〜れ!



こんなもんかなあ？

2月18日松尾公民館実習室で、公民館主催の味噌作り講座が行われ28人が参加した。

昨年7月の種まきや草取り作業を経て収穫した大豆を使い、毛賀区「まめの会」の会員5人を講師に招き、味噌の仕込みをした。前日およそ4時間かけて煮た大豆を、すり鉢などを使って潰し、塩を混ぜた麹と混ぜ合わせ

る作業では、「豆はこれくらい大きさいいですか？」「混ぜ方はこれでいいですか？」などと、おいしい味噌になつてほしいという思いが伝わる質問が飛び交った。

地元の保育園で給食担当者をしてという齋藤りかさんは、「地元で採れた大豆を使って作った味噌を、園の子供たちに食べさせてあげたいと思つて参加しました。家庭ではなかなか味噌作りなんて出来ないの、公民館でこのような講座があり参加させてもらえてうれしかったです」と話した。

まめの会代表の塩澤みどりさんも、「公民館の後押しがあつてこそ出来る事業もあるの、地域の人のためにも続けてほしいです」と話していた。なお、熟

多文化交流会 今年はお日本の味



香ばしいにおいがしてきたよ

2月12日に松尾公民館と常盤台分館主催、飯田国際交流推進協会協力のもと、常盤台集会所にて「多文化交流会」が行われた。

今年のテーマは、「日本の食文化を味わってもらいな

がらお互いに交流を深める」というもの。小中学生で構成されている松尾和太鼓教室による3曲の演奏でオープニングが飾られた。

交流ではお好み焼き・お雑煮・あんころ餅・きなこ餅を参加者全員が協力して調理した。

お好み焼き作りでは、ホットプレートを多数使用したため、プレートが切れるトラブルもあつたが、出来栄は素晴らしく香ばしい匂いが集会所内に広がった。

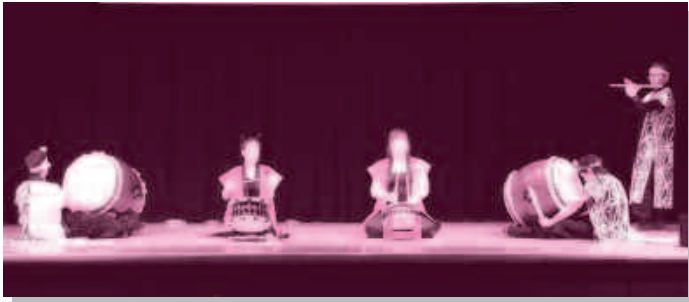
茶話会ではそれぞれの料理を味わいながら、中国の踊りをみんなで踊ったり、お楽しみ抽選会などを行ったりして、大いに盛り上がった。

お互いの文化を知り、和やかな雰囲気の中で交流出来た貴重な機会であつた。

芸能発表 グループ紹介

2日間にわたり 28 団体が発表

当日配布した紹介カードに
記載されたグループの中から紹介



和太鼓倶楽部 ウッホッホ

☆毎週土曜日 17:30~
多摩川精機第2事業所体育館(毛賀)で活動しています
会員募集中!
一緒に太鼓始めましょう♪
ぜひ、見学に来てください!



松尾少年スポーツクラブ ダンススポーツクラブ飯田戸

“現代的なリズムのダンス”誰もが簡単に楽しく踊ることができる「ダンスうんどう」を取り入れ、身体を使い表現力を身につけていきます。地区の納涼祭や文化祭、ダンス大会などに参加しています。
園児~中学生まで。
まずは体験レッスンから!!いつでもどうぞ(^_^)
毎週土曜日 9:00~12:00 松尾公民館・青少年ホーム



松流囃子保存会

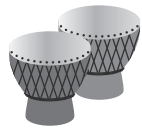
新井区で唯一の伝統芸能であり、明治の初めより伝わる松流ばやしですが、戦争中一時途絶えていました。昭和52年当時の壮年会の皆さんの努力により復活して現在に至っております。はやし(だいのやし)の曲目は12曲ほどありますが、今日はその中から「玉神頭」と「大拍子」の2曲を演奏します。



Sabunyuma

西アフリカの伝統音楽を中心に演奏&ダンスをしています。
興味がある方は声をかけて下さい。

月曜日・・・タイコ練習 19:30~21:30
木曜日・・・ダンス練習 19:30~21:30



松尾ダンスカンパニー

「ダンスの効果で階段が上がる」「背中が伸びた」「膝の調子がいい」「若いって言われる」...そうです!!
ダンスは認知症予防にも最適なスポーツだと言われ今人気上昇中!!楽しい音楽にのって無理なく運動ができ気分上々。いつでも気楽に始められますよ♪

3月~新規会員募集 体験参加できます!
問合せ先は公民館へ
※毎週月曜日 午後7:30~9:30
・松尾公民館 ・上郷さくらさくら



Hana Hau Ohana

毎週水曜日夜7時からまつぼっくりで練習しています。
常盤台のスタジオでは子供のクラスもあります。
ポリネシアの楽器演奏でのレッスンもしています。



豊文三会松尾三味線教室

“松尾村歌。先生が、三味線譜に作って下さいました。歴史ある村歌を後世に残したいと思う”



上溝こども獅子舞

上溝こども獅子舞保存会 発足は平成24年。古くより、下殿岡八幡社の春季祭典で奉納されてきた獅子舞を御手本に伝授したものです。小学生を中心に活躍し地区のイベントでは欠かせない存在になっています。お囃子は『数え唄』『大社囃子』『宮神楽』の3曲で、これにはストーリーが設定してあり、「いつもは大人しくしている獅子が急に暴れ出し、それを落ち着かせるために、お囃子を聞かせる」となっています。



★ TAP

はじめまして!♪
ダンシングナッツ & Funtaps,
松尾の勤労青少年ホームで活動しているTAPサークルです!



慈光松尾保育園 年長

松尾小学校と緑ヶ丘中学校が コミュニティスクールになります

コミュニティスクールとは、どのように子供たちを育てるかなどを話し合う「学校運営協議会」を設置した学校のことをいいます。構成員は学校や保護者、地域を代表する住民です。松尾小学校と緑ヶ丘中学校に平成29年度に学校運営協議会が設置されます。松尾では、クラブ活動のボランティアや登下校時の見守りなど、地域の住民が積極的に関わってきました。また、昨年は小中家庭科合同授業を連携授業として行いました。これらの活動をさらに進めるために、学校運営協議会の委員はもちろん、住民が積極的に支援ボランティアなどとして関わり、地域全体で子供のことを考えましょう。

オーケストラと友に音楽祭2017 「コミュニティコンサート」 が松尾にやってくる!

※中学校合唱部・吹奏楽部による歓迎演奏
※名古屋フィルハーモニー交響楽団メンバーによる金管五重奏

日時 5月5日(金)
18時00分 開場 18時30分 開演

会場 緑ヶ丘中学校体育館
○小学生以上500円

松尾公民館でチケットの販売を行います
問い合わせ 松尾公民館

松尾地区文化祭を終えて

今年度の文化祭は、2月4日、5日に開催し、一日目は晴天、二日目は大雪と対照的な天候でしたが、両日とも多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。初めての試みとして、芸能発表会を2日間にわたって行いましたが、1日目と2日目の雰囲気が変わり、好評なご意見を多くいただきました。また、文化展も多くの方に出展いただき、充実した見ごたえのある内容で実施できました。ご協力いただきました各団体、地域の皆様、出演・出演していただきました皆様、会場に足を運びました皆様、会場に足を運びました皆様、感謝申し上げます。

文化委員長
熊谷 吏花

明区 ふれあい広場 スコップ三味線&指の体操

『ふれあい広場』は社会福祉協議会明支部が毎月1回、高齢者を対象に行っている。2月19日に、毛賀分館役員有志で活動している磯石一座を招き、スコップ三味線演奏と指先の運動を、明コミュニケーション防災センターで行った。月に1度のふれあい広場に楽しんでいる人も多く、この日は32人が集まる盛況ぶり。懐かしい曲も織り混ぜた一座の演奏に合わせ、参加者も一緒に歌いながら楽しい時間を過ごした。また、一座の指導のもと



スコップでいい音が出るもんなんだな～

指先の運動も行った。歌いながら指を一本2本と出す運動だが、意外とこれがなかなか難しい。歌に集中すると手が動かさず、手に集中すると歌が歌えず、笑いながらの楽しい指の運動になった。予定時間の1時間があつという間に過ぎ、参加者からは「また来て！」の声があがるほど。

その後は、お茶菓子を食べながら歓談し解散となった。



1.2.4...ん～！むずかしい

久井区 飯田線の旅を満喫

久井区ではいきいきセミナーの一環として、文化部主任の「JR飯田線の旅 豊川稲荷」が開催された。

1月15日、参加者49人は伊那八幡駅6時32分発の電車に乗り豊川駅へ向かった。寒中の時期だったが、暖かい車内で談笑したり、秘境駅など車窓の景色を眺めたりと、3時間半の電車の旅を楽しんだ。



いざ参拝へ

豊川稲荷は駅から徒歩で5分。参加者は午後1時までの3時間、参拝や昼食、買い物をしてゆつくりと過ごした。休日ではあつたが混雑することなく、本殿など参拝しながら広い境内を歩き回ることが出来た。千体を超える狐の石像が並ぶ霊狐塚は一見の価値あり。お土産は「なり寿司とちくわが人気で、『元祖』と名のつく店に並んで買い求めていた。帰りの電車は混雑していたが、途中からは全員が座ることができ、熟睡する人もいた。

今回は電車が約半額になるJR青空フリー切符を利用したので、大勢の区民が気軽に参加することが出来た。「電車での旅はのんびり過ごせてとても良かった。来年度も目的地を変えてまた企画してほしい」という感想が多く、好評な旅となった。

寒さを忘れた 分館対抗ふらば～るバレー大会

1月29日、松尾小学校体育館で、ふらば～るバレーの地区内への普及と住民の健康増進、分館の親睦と交流を図る目的で分館対抗ふらば～るバレー大会が行われた。

開会式で公民館長から「多くの人が集い、交流してもらうことを期待する。しっかりと準備運動をして怪我のないようプレーしてほしい」と挨拶があった。12分館がA・Bブロックに分かれて試合を行った。得点を決めるのは、強いアタックではなく、いびつなボールの気まぐれな動きによるものが多かった。一見簡単そうに見えるが、ワンバウンドでパスをつないで相手に返していくのは容易ではない。順位決定戦に進む頃には、試合にも慣れラリーが続くようになり、熱戦が繰り広げられた。Aブロックは八幡町区が、Bブロックは城区が優勝した。

体育委員が中心となって運営をし、試合開始前の整列、コートチェンジ、試合終了などのタイミングをマイクで伝え、閉会式まで予定通りスムーズに進行された。選手も審判の判定に素直に従い、素晴らしい大会であった。

閉会式で田中利治スポーツ推進委員より、3月に行われる松尾・竜丘・下久堅の3地区オープンふらば～るバレー大会の参加チーム募集の案内があった。松尾から多くのチームが出場し、地区内外の交流が普及することを期待したい。



寺所区 健康のつどい

箏の調べに感動

寺所区では1月29日に寺所集会所で、福祉部・高齢者クラブ・分館の共同開催の健康のつどいが行われ、飯田女子高校の邦楽クラブの2年生6人を招き、箏の演奏会を実施した。

会場には、高齢者クラブを中心に小さな子供まで66人の観客が来場した。「初めて箏の演奏を近くで聴くので楽しみ」という声が聞こえる中、演奏がはじまった。1曲目の「六段の調」は誰もが一度は聞いたことのある

箏の定番曲。2曲目の「雪月花によせて」はあおるようなスピードの迫力がある現代邦楽。3曲目はアイドリンググループAKB48の曲で盛り上げ、最後は、「ふるさと」の演奏にあわせてみんなで合唱し会場が一体となった。

演奏を終えた高校生たちに、勤労富男分館長は、「魂が揺さぶられるような素晴らしい演奏をありがとう」と話し、宮澤芳明寺所区長は、「心を打つ演奏にほんとうに感動した。ぜひ機会があれば他地区の皆さんも聴いてほしい。寺所区では、これからも定期的に演奏会を続けていきたい」と語った。

飯田女子高校の邦楽クラブは、地域の祭りや敬老会、デイサービスでの演奏など幅広く活動をを行っている。全国大会にも出場する実力を持ち、昨年の広島での全国大会にも出場している。現在、メンバーは22人。今は宮城県で開催される大会に向けての練習に力を注いでいる。



情景が思い浮かぶ演奏

新井区 大盛況の芸能祭

2月19日、新井区ではコミュニティ消防センターで2年に1度の芸能祭が開催され、出演者と観覧者総勢200人を超える賑わいを見せた。出演者は保育園児から高齢者グループまで幅広い層の個人並びに団体の全13組。演目は、舞踊、歌、寸劇、ダンス、吹奏楽演奏、ジャズ演奏とタップダンス、伝統芸能と多岐にわたり、日頃の練習の成果が披露された。

小学生40人による「恋



手のひらを太陽に～♪

神社の様子がスライドで紹介された。小学校入学を控えた松尾東保育園年長児4人によるかわいい歌とダンスに、区民は歓声を上げた。

緑ヶ丘中学校の吹奏楽部の演奏は当初新井区内の部員6人の出演予定が、1・2年生の部員39人での出演となった。お馴染みの歌謡曲やテンポの速い曲に誰もが魅了され、小学生も飛び入りで加わって「恋ダンス」を踊り、雰囲気は最高潮に達した。

最後は全員で「信濃の国」の大合唱。この日のために練習を重ねてきた出演者と地道に準備したスタッフそれぞれの努力と熱意により成功裏に幕を閉じた。

ふれあいひろば

*水引教室

2月13日松尾小4年生19人が「淡路結び」を体験した。今年事前授業で学習しており、今回の水引教室によってさらに学習を深めることができた。

*天竜川環境美化活動

3月4日松尾マレットゴルフ場付近の河川敷で、緑ヶ丘中学校生徒17人と区民約200人が草刈り作業を行った。

